

国指定史跡

すぎ やま じょう あと

ひき じょうかん あとぐん

比企
城館跡群

杉山城跡

杉山城跡は、戦国時代の山城跡です。鎌倉街道を見下ろす丘陵の尾根上におよそ10の郭を配置した縄張となっています。各郭は横堀や帯郭が囲み、塁線には折が連続します。木橋や土橋を用いた様々な形態の虎口（郭の出入口）には侵入方向に対し真横からも矢を射掛けて防御する横矢掛りが施されます。また、こうした高度な築城技術により、知名度が高く「築城の教科書」「戦国期城郭の最高傑作のひとつ」という評価がされてきました。

一方、城主や築城年代については記録がなく不明でしたが、平成14年からの発掘調査で城の年代や歴史的な背景がわかってきました。



ひきぐんらんざんまち
埼玉県比企郡嵐山町